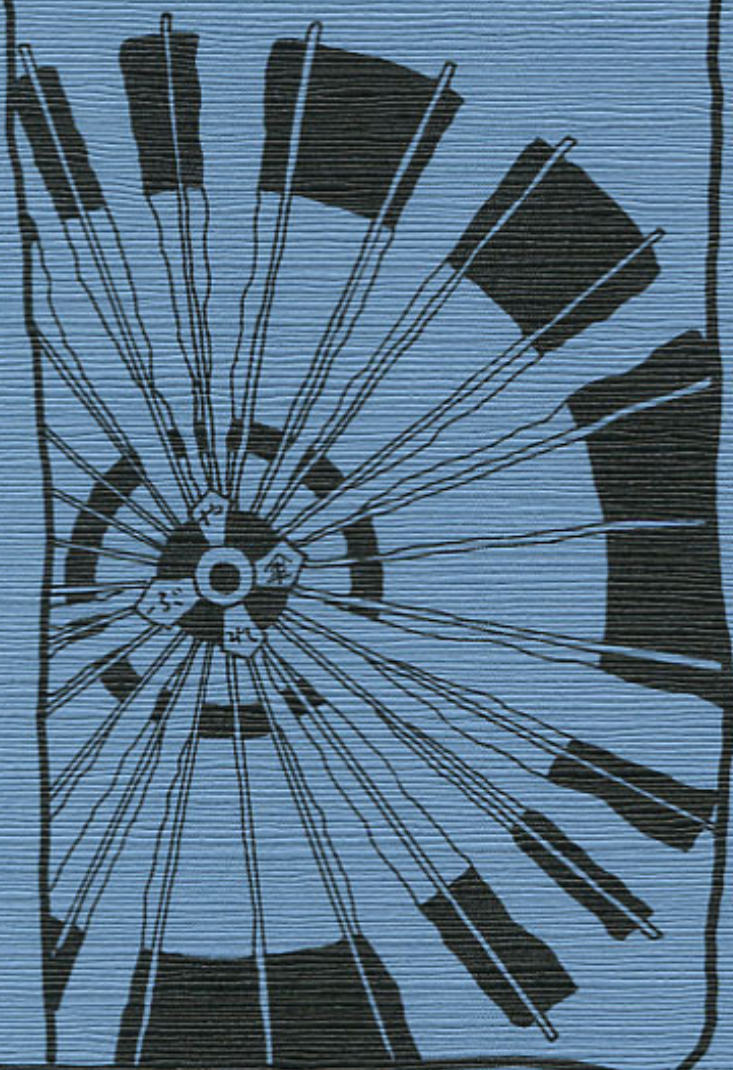


# やぶれ傘



六十一号

二〇二一年八月

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 雨音と骨切りの音夏れうり    | 根橋宏次   |
| 木綿針指になじまず梅雨晴間   | 秋葉貞子   |
| あぢさゐや庭に物干し竿二本   | きくちきみえ |
| 時鳥さ庭に荒き箒の目      | 大島英昭   |
| 噴水の水面に落つる音ばかり   | 藤井美晴   |
| 夕風や雫こぼせる柿若葉     | 白石正躬   |
| 農道に轍ありけり姫女苑     | 瀬島栖望   |
| 能面を顔はみ出せる薪能     | 丑久保勲   |
| 五月雨を流れにしたる石畳    | 廣瀬雅男   |
| 山並の裏にわく雲夾竹桃     | 渡邊孝彦   |
| 城跡の石垣高し苔の花      | 天野美登里  |
| 虚子庵の縁にひととき柿若葉   | 國保八江   |
| からす鳴くこゑの間近かに利休梅 | 有賀昌子   |
| 激痛を耐へ抜きし朝夏つばめ   | 久世孝雄   |
| 傘に雨十葉に雨伝ひけり     | 安藤久美子  |

## 抄 集 句 傘 選 夫 紀 崎 大 ぶ れ や

|                  |       |
|------------------|-------|
| 朝風のドナウの岸辺歩きけり    | 松村光典  |
| 離れ住む孫より土産こどもの日   | 橋本美代  |
| いつもより温め淹れる新茶かな   | 濱野 新  |
| 神興居て立ち往生の路線バス    | 松波丈子  |
| いいとこの子等らし対の夏帽子   | 松本善一  |
| 用水にせせらぎ戻る麦の秋     | 松本正生  |
| 虫かごの蜥蜴と遊ぶ少女かな    | 秋山信行  |
| 何事もなく日の暮れて豆御飯    | 岩藤礼子  |
| 降り出せば点描画めく夏の沼    | 小川 滋  |
| くちなはの冷たき背にふれにけり  | 奥田温子  |
| 緑蔭をさてと出てゆく昼休み    | 上林富子  |
| この世とはこんなところよ毛虫焼く | 菊地葉子  |
| 潮境ひ黒南風の手ふくらみぬ    | 忽那みさ子 |
| 柴垣の小路立夏の風吹けり     | 齋藤朋子  |
| よく笑ふ齒は十本に柿若葉     | 武石京子  |

河 骨

大崎 紀夫

蛙鳴くこゑの日暮れてきたりけり  
水際を家鴨鳴きゆく薄暑かな  
差し潮に五月のひかる傘雨の忌  
蛇の衣箒の先に捧げくる  
山藤や小屋にハタキかける音

廃船を浜昼顔の囲むかに  
夜の守宮玻璃戸に腹を膨らます  
はへとりぐも跳ね空つぽの本の函  
降る雨に午後のあかるさ沙羅の花  
蒸るる夜の雲たひらかに移りけり  
河骨を雨脚かこみ始めけり  
石垣の畑にじやがたら咲いて雨

薪 能

丑久保 勲

高 圧 線 の 長 き た る み や 山 若 葉  
 警 官 の 姿 の 板 絵 日 の 盛 り  
 野 辺 山 の 天 文 台 の 桜 か な  
 四 つ 角 に 地 域 の マ ッ プ 夏 燕  
 能 面 を 顔 は み 出 せ る 薪 能  
 老 鶯 や 幹 に リ ボ ン の 道 し る べ  
 す れ 違 ふ 犬 の 吠 え あ ふ 銭 葵  
 金 屑 の 匂 ふ 作 業 所 梅 雨 晴 間  
 テ ー ブ ル の ワ イ ン ボ ト ル や 額 の 花  
 リ ヤ カ ー を バ イ ク 引 き ゆ く 麦 の 秋

石 畳

廣瀬雅男

鯉のぼり背山の近き一軒家  
ねぢ花の突き出してゐる芝生かな  
昼頃に薄日差したる梅雨の入  
五月雨を流れにしたる石畳  
夏菜莢や幼き頃は戦時中  
畳屋の天水桶のめだかな  
葎切のこゑを背に聞く渡し舟  
木道に木漏れ日落とす夏木かな  
庭に来て日向を辿る揚羽かな  
掬ひたき金魚は深く泳ぎけり

夾竹桃

渡邊孝彦

金槌で屋根を打つ音藤の花  
田も畑もおよそ土色遠霞  
春の雨京の町家の犬矢来  
白川の澱みなき瀬や糸柳  
客室に折り紙の鯉幟かな  
蠅打ちを惑はす蠅の羽音かな  
山陰となりしまま暮れ花菖蒲  
いはたばこ岩のくぼみに地蔵尊  
山並の裏にわく雲夾竹桃  
一對のとんぼ田んぼに現はるる

苔の花

天野美登里

田の風に水の蝶蜩の動きけり  
バス停のベンチはえごの花の下  
木のうろの紙垂新しき夏の昼  
裁ち板に篋の痕あり白緋  
サイダーの泡ひとつつ弾けけり  
小杜へ石畳道花擬宝珠  
虎杖の花のこぼるる駅舎かな  
川波のゆるりと流る夕薄暑  
冷房の窓にコーヒー飲みにけり  
城跡の石垣高し苔の花



虚子庵

國保八江

風薫る野をくるくると一輪車  
六月や虚子の袴と桐の下駄  
虚子庵の縁にひととき柿若葉  
師の好む虚子の一句や白牡丹  
小判草岸辺の風に揺れにけり  
庭先の犬小屋に焚く蚊遣香  
切株に掛けてしばしを麦の秋  
老鶯のこゑを間近に比企郡  
古井戸に蓋のしてある半夏生草  
堂から堂へ階長く合歡の花

利休梅

有賀昌子

リラ冷えの街は坂から海の見ゆ  
柳の芽八歳の児のキツクオフ  
剪り置きの木香薔薇を馬穴へと  
からす鳴くこゑの間近かに利休梅  
赤松の薪積む窯や幟たつ  
山なみや代田一面水鏡  
粧ひたる双体神や夏蓬  
蛭棲むてふ小流れの路草茂る  
柳絮とぶ姉妹の髪の白くなり  
回し飲み濃茶点前や苔茂る

夏つばめ

久世孝雄

風薫る教会付属幼稚園  
更衣アウトレットの青きシャツ  
梅雨寒や地下一階の手術室  
点滴の雫を見つめ明易し  
激痛を耐へ抜きし朝夏つばめ  
眠くなるぼとりぼつりと沙羅落花  
日盛りや向う三軒音もなし  
虫誘ふカサブランカの蕊のゆれ  
水打つや日向の匂ひ立ち昇る  
大西日廃工場の破れ窓

十 薬

安藤久美子

空に雲なく地に姫女菀ばかり  
虫喰ひの穴の大きな葉七変化  
傘に雨十薬に雨伝ひけり  
御持たせの折紙付のメロンなり  
縁日より家の湯船へ浮いて来い  
売出しのマンションに揺れ立葵  
夕暮のいろにビル街夏燕  
綿菅に風の波立つ戦跡  
蒜山の大山<sup>はんざ</sup>椒<sup>さ</sup>魚<sup>ぎ</sup>の動かざる  
雨情の碑読み上げてゐる夏帽子

ドナウの岸辺

松村光典

炎帝を背中にのせて街歩く  
ダニユーブの夏の風切るつばめかな  
満月を地球が齧る麦の秋  
胸揺らしセルビア娘夏を往く  
七夕のセルビアの空雲厚し  
朝風のドナウの岸歩きけり  
夏のタケバブほほばり談論す  
小雀の囀り高きプラタナス  
夏風に青き実揺らすプラタナス  
ひねもすをビートル傾けカフェにあり

鰯 窓 五 中 昼 蚕 昼  
 振 す 月 山 寝 豆 顔  
 る べ 雨 道 覚 に や  
 ふ て 一 柿 九 呼 さ  
 街 春 人 の 回 ば な  
 中 灯 詰 花 裏 れ み  
 の と 碁 散 に て 寄  
 畑 も の 屋 間 孫 の 利  
 桜 す 石 の 敷 合 ひ 相 渡  
 散 中 華 握 沿 ひ て 伴 し

中村則夫

両 の 手 を 差 し 出 す 嬰 や 花 吹 雪  
 桜 咲 く 道 を 選 び て 行 き に け り  
 母 の 顔 と な り し 吾 子 か な 柏 餅  
 六 月 の 土 の 香 樹 の 香 朝 の 径  
 蹲 踞 に 影 置 く 楓 若 葉 か な  
 待 ち 合 は す 若 葉 明 り の カ フ エ テ ラ ス  
 法 螺 貝 の 響 く 初 瀬 や 青 葉 風

貫井照子

## ◇ 9～10月の句会案内

| 月   | 日      | 時       | 句 会 名     | 会 場      | 連 絡 先     |
|-----|--------|---------|-----------|----------|-----------|
| 9 月 | 2 日(金) | AM10:00 | NHK大崎教室   | さいたまアリーナ | NHK文化センター |
|     | 2 日(金) | PM6:00  | な ご み 会   | 浦和コミセン   | 丑久保 勲     |
|     | 6 日(火) | AM9:00  | こ な か ら 会 | 戸田市中央公民館 | 大崎紀夫・WEP  |
|     | 6 日(火) | PM6:00  | う ら ら 会   | 浦和コミセン   | 瀬 島 孟     |
|     | 7 日(水) | PM7:00  | ぎ ん な ん 会 | 浦和コミセン   | 丑久保 勲     |
|     | 17日(土) | PM2:00  | セニョリータ句会  | WEP俳句教室  | 藤 井 美 晴   |
|     | 24日(土) | AM9:00  | 楽 天 会     | 上戸田公民館   | 廣 瀬 雅 男   |
|     | 25日(日) | PM2:00  | やぶれ傘句会    | WEP俳句教室  | WEP編集室    |
|     | 28日(水) | PM6:00  | 三 斗 会     | WEP俳句教室  | 丑久保勲・WEP  |
| 10月 | 3 日(月) | PM7:00  | ぎ ん な ん 会 | 浦和コミセン   | 丑久保 勲     |
|     | 4 日(火) | AM9:00  | こ な か ら 会 | 戸田市中央公民館 | 大崎紀夫・WEP  |
|     | 4 日(火) | PM6:00  | う ら ら 会   | 浦和コミセン   | 瀬 島 孟     |
|     | 7 日(金) | AM10:00 | NHK大崎教室   | さいたまアリーナ | NHK文化センター |
|     | 7 日(金) | PM6:00  | な ご み 会   | さいたま市民会館 | 丑久保 勲     |
|     | 15日(土) | PM2:00  | セニョリータ句会  | WEP俳句教室  | 藤 井 美 晴   |
|     | 16日(日) | AM10:00 | 吟行会(下記注)  | 新 宿 御 苑  | 丑久保 勲     |
|     | 22日(土) | AM10:00 | 楽 天 会     | 上戸田公民館   | 廣 瀬 雅 男   |
|     | 23日(日) | PM2:00  | やぶれ傘句会    | WEP俳句教室  | WEP編集室    |
|     | 26日(水) | PM6:00  | 三 斗 会     | WEP俳句教室  | 丑久保勲・WEP  |

(注) ぎんなん会は奇数月は第1水曜、偶数月は第1月曜です。

なごみ会10月7日(金)は「さいたま市民会館505号室」です。

10月16日(日)の吟行。集合は10時。新宿御苑正面入り口前。

句会場：WEP俳句教室。

◎ 連絡先    瀬 島 孟    ☎ 048-862-2757    藤 井 美 晴    ☎ 0422-55-2733  
                  大 島 英 昭    ☎ 048-592-5041    WEP編集室    ☎ 03-5368-1870  
                  廣 瀬 雅 男    ☎ 048-443-7522    浦和コミセン    ☎ 048-887-6565  
                  丑久保 勲    ☎ 048-853-3856    WEP俳句教室    WEP編集室へ